



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

上場会社名 トピー工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7231 URL <https://www.topy.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 博美
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 小柳津 智毅 TEL 03-3493-0141
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	219,812	△1.4	5,912	99.1	6,656	75.2	7,694	106.7
2025年3月期第3四半期	223,028	△13.0	2,970	△66.9	3,798	△60.8	3,723	△13.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 7,948百万円(622.1%) 2025年3月期第3四半期 1,100百万円(△91.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	351.76	—
2025年3月期第3四半期	163.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	277,853	140,890	50.2	6,453.72
2025年3月期	281,751	136,713	48.0	6,133.88

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 139,498百万円 2025年3月期 135,278百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	73.00	103.00
2026年3月期	—	40.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	90.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	302,000	0.5	7,000	32.1	7,100	13.7	7,800	22.1	363.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	24,077,510株	2025年3月期	24,077,510株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	2,462,290株	2025年3月期	2,023,266株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	21,872,804株	2025年3月期3Q	22,838,907株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発行日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、自動車業界では米国の通商政策による影響がみられるものの、国内自動車生産台数については前年並みとなりました。一方、鉄鋼業界では国内鋼材需要の低迷が続きました。

このような経営環境下、当社グループは、基本方針として「既存事業の構造改革による収益力向上」と「コアコンピタンスを生かした成長事業の種まき」を掲げた中期経営計画「TOPY Active & Challenge 2027」を着実に実行しております。その一環として、独自技術を生かした新開発のホイールをJapan Mobility Show 2025で発表いたしました。今後も高付加価値製品の開発、市場への展開を進めてまいります。また、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて、政策保有株式の縮減や機動的な自己株式の取得等を推進しております。

当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、鉄鋼セグメントにおける需要低迷の影響等はあったものの、自動車・産業機械部品セグメントにおける構造改革に加え、持続可能な販売価格の形成の進展等により、売上高は219,812百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は5,912百万円（前年同期比99.1%増）、経常利益は6,656百万円（前年同期比75.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,694百万円（前年同期比106.7%増）となりました。

【セグメントの業績】

(鉄鋼セグメント)

鉄鋼業界では、人手不足等に伴う建築案件の工期遅れ等により国内鋼材需要は低調に推移しました。原材料である鉄スクラップ価格は、第3四半期に入って円安影響等により上昇しました。

このような環境下、需要低迷に伴う販売価格の低下および販売数量の減少、修繕費等の諸コストの増加等により、当社グループの売上高は66,626百万円（前年同期比13.4%減）、営業利益は1,931百万円（前年同期比57.7%減）となりました。

(自動車・産業機械部品セグメント)

自動車業界では、国内自動車生産台数は前年並みで推移しました。海外では米国・東南アジア地域で自動車生産台数が減少し、中国では日系メーカーのシェア減退が続きました。建設機械業界では、油圧ショベルのグローバル需要は低調に推移しました。また、鉱山機械の需要は停滞傾向が見られました。

このような環境下、構造改革に加え、持続可能な販売価格の形成が進んだこと等により、当社グループの売上高は148,112百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は7,927百万円（前年同期比251.8%増）となりました。

(その他)

合成マイカの製造・販売、土木・建築、不動産の賃貸及びスポーツ施設の運営等を行っております。売上高は5,073百万円（前年同期比6.0%減）、営業利益は659百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、277,853百万円となり、前連結会計年度末比3,898百万円の減少となりました。主に機械装置及び運搬具の減少2,262百万円、現金及び預金の増加1,778百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少1,012百万円によるものです。

負債合計につきましては、136,963百万円となり、前連結会計年度末比8,075百万円の減少となりました。主に社債の減少7,000百万円、電子記録債務の増加6,357百万円、短期借入金の減少5,782百万円によるものです。

純資産合計につきましては、140,890百万円となり、前連結会計年度末比4,177百万円の増加となりました。主に利益剰余金の増加5,208百万円、自己株式の増加1,240百万円、その他有価証券評価差額金の増加1,166百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループを取り巻く事業環境は、国内鋼材需要低迷の影響に加え、鉄スクラップ価格の動向等により、厳しい状況が続くことが想定されます。

当社グループは、通期の業績見通しの達成に向けて、鋼材販売価格と鉄スクラップ価格との値差の確保に努めるとともに、全てのセグメントにおいてコストの削減、持続可能な販売価格の形成を推進してまいります。

2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)の業績見通しにつきましては、2025年5月9日発表の内容から変更しておりません。なお、この判断は、本資料の発行日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,474	29,253
受取手形、売掛金及び契約資産	62,090	61,077
商品及び製品	27,800	28,428
仕掛品	7,313	6,782
原材料及び貯蔵品	19,734	20,112
その他	10,865	7,786
貸倒引当金	△93	△69
流動資産合計	155,185	153,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	100,081	101,300
減価償却累計額	△75,469	△76,804
建物及び構築物(純額)	24,611	24,496
機械装置及び運搬具	233,339	235,280
減価償却累計額	△198,138	△202,342
機械装置及び運搬具(純額)	35,200	32,937
土地	15,573	15,800
リース資産	1,754	1,642
減価償却累計額	△942	△1,014
リース資産(純額)	812	627
建設仮勘定	2,577	3,240
その他	43,750	44,589
減価償却累計額	△41,908	△42,766
その他(純額)	1,841	1,822
有形固定資産合計	80,616	78,925
無形固定資産		
その他	3,436	3,124
無形固定資産合計	3,436	3,124
投資その他の資産		
投資有価証券	30,748	30,778
長期貸付金	219	232
繰延税金資産	819	799
退職給付に係る資産	494	494
その他	10,310	10,206
貸倒引当金	△80	△80
投資その他の資産合計	42,512	42,431
固定資産合計	126,566	124,481
資産合計	281,751	277,853

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,375	28,855
電子記録債務	15,775	22,132
短期借入金	26,280	20,497
1年内償還予定の社債	5,000	7,000
リース債務	228	193
未払法人税等	2,171	1,723
その他	16,021	13,568
流動負債合計	95,852	93,971
固定負債		
社債	25,000	18,000
長期借入金	11,891	12,376
リース債務	394	284
繰延税金負債	1,088	1,464
執行役員退職慰労引当金	157	212
役員株式給付引当金	42	56
役員退職慰労引当金	19	23
定期修繕引当金	265	236
退職給付に係る負債	7,240	7,269
資産除去債務	1,658	1,670
その他	1,427	1,397
固定負債合計	49,186	42,991
負債合計	145,038	136,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,983	20,983
資本剰余金	18,622	18,622
利益剰余金	73,984	79,193
自己株式	△4,210	△5,451
株主資本合計	109,379	113,348
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,968	14,135
繰延ヘッジ損益	△9	2
為替換算調整勘定	10,868	10,127
退職給付に係る調整累計額	2,070	1,885
その他の包括利益累計額合計	25,898	26,150
非支配株主持分	1,435	1,391
純資産合計	136,713	140,890
負債純資産合計	281,751	277,853

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	223,028	219,812
売上原価	192,506	185,539
売上総利益	30,521	34,272
販売費及び一般管理費	27,551	28,359
営業利益	2,970	5,912
営業外収益		
受取利息	127	122
受取配当金	954	912
為替差益	—	37
持分法による投資利益	118	231
受取補償金	513	—
その他	257	281
営業外収益合計	1,971	1,585
営業外費用		
支払利息	547	536
為替差損	148	—
設備移転費用	106	—
その他	340	305
営業外費用合計	1,142	841
経常利益	3,798	6,656
特別利益		
固定資産売却益	219	18
投資有価証券売却益	3,011	4,643
補助金収入	79	140
為替換算調整勘定取崩益	—	101
特別利益合計	3,310	4,903
特別損失		
固定資産売却損	25	7
固定資産除却損	168	317
減損損失	15	—
投資有価証券評価損	18	1
固定資産圧縮損	79	140
事業再編損	740	—
課徴金引当金繰入額	285	—
特別損失合計	1,332	466
税金等調整前四半期純利益	5,776	11,093
法人税等	1,968	3,333
四半期純利益	3,808	7,760
非支配株主に帰属する四半期純利益	85	66
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,723	7,694

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	3,808	7,760
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,004	1,049
繰延ヘッジ損益	7	11
為替換算調整勘定	1,324	△510
退職給付に係る調整額	△278	△182
持分法適用会社に対する持分相当額	243	△178
その他の包括利益合計	△2,707	188
四半期包括利益	1,100	7,948
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	983	7,945
非支配株主に係る四半期包括利益	117	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄鋼	自動車・産 業機械部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	76,893	140,737	217,630	5,397	223,028	—	223,028
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,790	—	13,790	—	13,790	△13,790	—
計	90,683	140,737	231,420	5,397	236,818	△13,790	223,028
セグメント利益	4,563	2,253	6,816	703	7,520	△4,549	2,970

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成マイカ、屋内外サインシステム、土木・建築、不動産の賃貸及びスポーツ施設の運営等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△4,549百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に関わる費用です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄鋼	自動車・産 業機械部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	66,626	148,112	214,738	5,073	219,812	—	219,812
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,747	—	14,747	—	14,747	△14,747	—
計	81,374	148,112	229,486	5,073	234,559	△14,747	219,812
セグメント利益	1,931	7,927	9,858	659	10,518	△4,605	5,912

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成マイカ、屋内外サインシステム、土木・建築、不動産の賃貸及びスポーツ施設の運営等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△4,605百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に関わる費用です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年12月31日)
減価償却費	8,621百万円	8,617百万円
のれんの償却額	93	93